



防災チェックシート（企業版）

山形県

激甚化・頻発化する自然災害や地震等の大規模災害に備えて、企業においても防災の取組（事前の備え）を行いましょ。う。

企業の社員や顧客、施設・設備等の経営資源を守るとともに、事業活動を継続させるための対策を事前に立てておくことが大切です！

このチェックシートで災害への備えを点検してみてください。

～ 3月11日は『県民防災デー（防災点検の日）』です！！～

（令和6年1月31日制定）

1. 災害リスクの把握

市町村等のハザードマップから、社屋や自社倉庫、主要な取引先、社員宅等の所在地の災害リスクを把握しましょ。う。

ハザードマップ等による社屋や主要取引先等の災害リスクの把握（市町村ハザードマップ、国土地理院が提供する「重ねるハザードマップ」等による確認）

耐震診断等による社屋等建物の耐震性の確認



2. 平常時の備え

「人命」「施設」「財産」「情報」を守るため、必要な対策を講じ、災害に備えましょ。う。

社内のガラス、壁、看板、塀などの安全性の確認

出口や階段などに障害物を置かない等、消火装置や避難経路等の点検

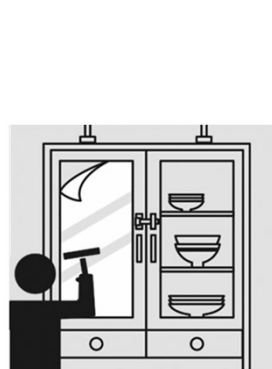
書類棚やOA機器などのオフィス機器等の転倒防止対策

データのバックアップや適切な保管、非常電源の確保など、情報資産の安全対策

企業及び社員それぞれで、非常用物品（備蓄品）・防災資機材等の準備

※企業で確保する備蓄（食料・飲料水）は、

3日分程度を目安に（できれば1週間）

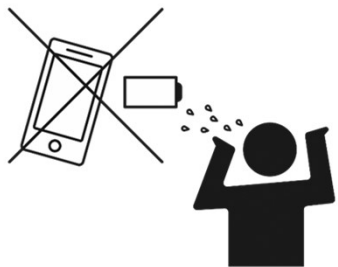


3. 緊急時対応の事前準備

災害発生時には迅速な対応が必要になります。

従業員等の初動対応の内容とタイミング、手順などを事前に確認しておきましょう。

- 発災時間帯別（①出勤時間、②就業時間、③帰宅時間等）の出退勤ルールの設定・共有
- 発災時に職場にいない従業員等の安否確認体制の構築
- 発災時、従業員等を社内待機させ、むやみに移動させないことの徹底（社内待機による一斉帰宅抑制）
- 社内待機できない場合に備え、避難場所・避難経路の確認
- 従業員等への防災研修・各種訓練の実施



4. 事業継続計画（BCP）の策定

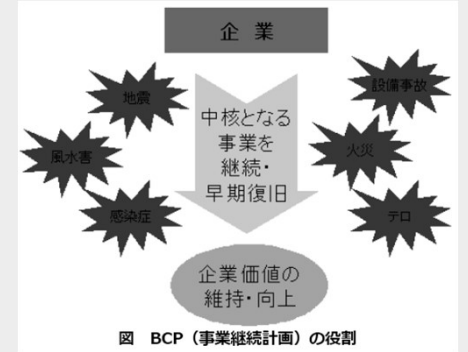
事業継続計画（Business Continuity Plan、BCP）は、大地震等の自然災害など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画です。

災害等の緊急事態でも事業の継続と早期復旧ができるようBCPを策定しましょう。



BCPについて
（県HP）

- BCPの策定



5. 地域貢献・地域との共生

大規模災害の被害を最小限にとどめるためには、社会全体で防災に取り組むことが大切です。

事業所（企業）は、地域の強力な構成員です。

災害が発生した際に助け合うことができるよう、日ごろから、地域住民や他企業と連携し関係を構築しておきましょう。

- 日頃から地域の行事や防災訓練へ参加
- 大規模災害を想定した地域住民や他企業との連携体制の構築



〒990-8570 山形市松波 2丁目 8番 1号
山形県防災くらし安心部防災危機管理課
TEL：023-630-2230 FAX：023-633-4711



県防災HP
はこちら